みどりの東北

Midori no Tohoku

No.234
令和５年 2023.9
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

令和５年７月の大雨で特に雨量の多かった地域の民有林の被害状況について、ドローンにより調査を行いました。

大雨災害時の市町村支援活動（岩手県西和賀町）
〔提供：岩手南部森林管理署〕

CONTENTS

地域発NEWS …… 1～4
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 5～6
特集コーナー …… 7
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 8
地域のこの人 …… 9
東北森林管理局の管内で予定されているイベント情報 …… 10

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

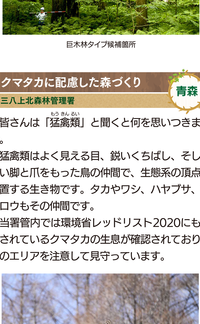
魅力的！秋田スギの美林　秋田

米代東部森林管理署

当署では現在、秋田スギ美林として設定できる候補地を検討しています。これは、東北森林管理局が主体となり「青森ヒバと秋田スギの美林誘導プロジェクトチーム」が結成され、かつての美林の姿と新たに美林を増やしていくための手法等について検討・試行するための取組となっています。

秋田スギの天然林は、青森ヒバ、木曽ヒノキと並び「日本三大美林」とうたわれています。ここ秋田といえば「天然秋田スギ」ですが、戦後の復興や経済の発展を目的とし、その多くが伐採され木材として利用されてきたため、現在は、国民共通の貴重な財産として大切に維持・保護を行っています。当署管内には樹齢100年を超える高品質な秋田スギ人工林も複数存在しており、その中から、美林の条件に近い候補地について箇所を設定し、新たな秋田スギ美林の誘導に向けて取り組んでいくことを目指しています。また、美林として設定するには、様々な方に見ていただきたいことから、美林条件のほか現地までのアクセスも考慮しつつ、現在数ヶ所ピックアップし候補地として検討しているところです。

地域の観光産業や木材産業へ貢献できるよう、秋田スギのブランド力を活かした「秋田スギの美林」を増やしていくよう取り組んでいきます。



巨木林タイプ候補箇所

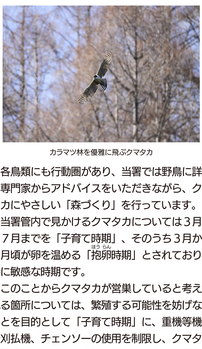
クマタカに配慮した森づくり　青森

三八上北森林管理署

皆さんは「猛禽類（もうきんるい）」と聞くと何を思いつきますか。

猛禽類はよく見える目、鋭いくちばし、そして強い脚と爪をもった鳥の仲間で、生態系の頂点に位置する生き物です。タカやワシ、ハヤブサ、フクロウもその仲間です。

当署管内では環境省レッドリスト2020にも掲載されているクマタカの生息が確認されており、そのエリアを注意して見守っています。



カラマツ林を優雅に飛ぶクマタカ

各鳥類にも行動圏があり、当署では野鳥に詳しい専門家からアドバイスをいただきながら、クマタカにやさしい「森づくり」を行っています。

当署管内で見かけるクマタカについては３月から７月までを「子育て時期」、そのうち３月から５月頃が卵を温める「抱卵（ほうらん）時期」とされており、特に敏感な時期です。

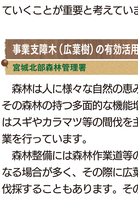
このことからクマタカが営巣していると考えられる箇所については、繁殖する可能性を妨げないことを目的として「子育て時期」に、重機等機械や刈払機、チェンソーの使用を制限し、クマタカに配慮した「森づくり」を行っています。猛禽類の生育に必要不可欠な豊かな環境の森づくりに引き続き取り組んでいきます。

林業事業体と考える造林・保育の低コスト化　山形

山形森林管理署

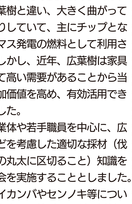
林業で収益を得るには「伐って植えて育てる」過程の経費を抑えるのが重要です。また、木材用途の変化、若手・女性人材の確保、気候変動、機械化等様々な課題への対応も必要です。

このような中、国有林では「造林・保育」作業の見直しと低コスト化に取り組んでおり、当署でも、植え付けた苗木と競合する草の刈払い（下刈）を、植え付けた苗木の列の合間にとどめて、刈り払う面積を抑える方法（筋刈）を導入しています。



筋刈箇所の遠望

下刈作業が終わり、作業の受発注者双方で実施状況を確認しながら、現地で行う完了検査は「まだ新しいやり方に慣れない」「苗木に印が付けてあるとわかりやすい」「筋刈は刈った草の持って行き場が少ない」といった感想を聴いたり、「作業をより円滑・安全に行うには？」といったコスト削減にも通じる課題について意見を交換したりし、事業の発注者として様々なヒントを得る機会となっています。



完了検査の様子

低コスト化の定着には、林業事業体とともに様々な取組にチャレンジしながら、「同じヤマを見る」現地での対話を通じて失敗事例も含めて結果を共有し、発注内容に反映させて地域に普及していくことが重要と考えています。

事業支障木（広葉樹）の有効活用について　宮城

宮城北部森林管理署

森林は人に様々な自然の恵みを与えてくれます。その森林の持つ多面的な機能増進のため、当署ではスギやカラマツ等の間伐を主とする森林整備事業を行っています。

森林整備には森林作業道等の道づくりが必要となる場合が多く、その際に広葉樹を支障木として伐採することもあります。その広葉樹の多くは、真っ直ぐに伸びる針葉樹と違い、大きく曲がっていたり、腐っていたりしていて、主にチップとなり紙の原料やバイオマス発電の燃料として利用されてきていました。しかし、近年、広葉樹は家具や住宅の内装材として高い需要があることから当署では、広葉樹の付加価値を高め、有効活用できないか検討してきました。

その結果、林業事業体や若手職員を中心に、広葉樹の曲がりや節などを考慮した適切な採材（伐採した木を２ｍなどの丸太に区切ること）知識を習得するため、勉強会を実施することとしました。

勉強会では、ウダイカンバやセンノキ等について、欠点や曲がりを考慮して検討しながら採材を行い、後日、公売を実施し、一般材として販売につなげることができました。

市場へ出材したウダイカンバ

当署では、今年度も広葉樹の採材を含めた採材検討会を実施する予定であり、地域林産業の活性化・資源の有効活用に貢献していきます。

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

時間をかけてゆっくり広葉樹の森づくり

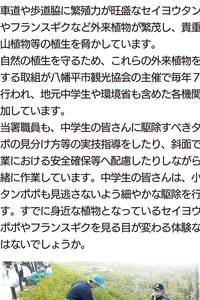
青森

津軽白神森林生態系保全センター

皆さん、白神山地といえば、どこまでも広がるブナをはじめとした原生的な天然林、というイメージをお持ちではないでしょうか。しかし、その白神山地世界自然遺産地域周辺には スギ等の人工林も多く分布しています。

そこで、当センターでは、毎年、夏と秋の２回、一般公募により参加していただく「自然再生活動」を鬼川流国有林において実施しています。これは、白神山地の自然遺産地域周辺の人工林に、近隣の山から採取した広葉樹を植樹し、長い年月をかけて広葉樹の森林を育成しようという活動です。

今年もその第１弾として、７月15日に５名の市民の協力を得て、ブナやミズナラの山取苗を植樹しました。最初に私たち職員から、今日植えた苗木の多くは長い年月の中で淘汰されて、大きな木に育つのは数本であるという説明をしました。それでも参加者の皆さんは、あいにくの天気の中、雨に打たれながら、森づくりの第一歩となるよう願いを込めるようにして、一所懸命に穴を掘り、苗木を植えてくださいました。



苗木を植える参加者の皆さん

当センターは、これからも市民の皆さんの協力をいただきながら、息の長い白神山地の森づくりの活動を続けていきたいと考えています。

外来植物から植生を守る

岩手

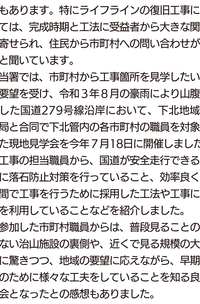
岩手北部森林管理署

当署管内の十和田八幡平国立公園の八幡平地区は、貴重な野生動植物の生息地であり、その地域特有の生態系を守るため、八幡平山頂付近は「八幡平生物群集保護林」や特別保護地区に指定されています。

その魅力で多くの人を引き付ける反面、公園内の車道や歩道脇に繁殖力が旺盛なセイヨウタンポポやフランスギクなど外来植物が繁茂し、貴重な高山植物等の植生を脅かしています。

自然の植生を守るため、これらの外来植物を駆除する取組が八幡平市観光協会の主催で毎年７月に行われ、地元中学生や環境省も含めた各機関が参加しています。

当署職員も、中学生の皆さんに駆除すべきタンポポの見分け方等の実技指導をしたり、斜面での作業における安全確保等へ配慮したりしながら、一緒に作業しています。中学生の皆さんは、小さなタンポポも見逃さないよう細やかな駆除を行います。すでに身近な植物となっているセイヨウタンポポやフランスギクを見る目が変わる体験なのではないでしょうか。



活動の様子

これからも貴重な自然植生の保護のため、繁殖力が旺盛な外来植物の駆除に努めていきます。

復旧治山工事中の現地見学会

青森

下北森林管理署

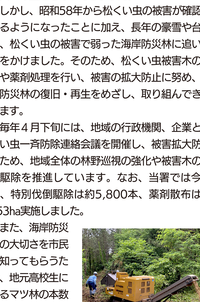
自然災害により発生した山地災害の復旧には、大規模な治山工事を必要とする個所もありますが、ライフラインなど早期復旧を最優先とする工事もあります。特にライフラインの復旧工事については、完成時期と工法に受益者から大きな関心が寄せられ、住民から市町村への問い合わせが多いと聞いています。

当署では、市町村から工事箇所を見学したい旨の要望を受け、令和３年８月の豪雨により山腹崩壊した国道279号線治岸において、下北地域県民局と合同で下北管内の各市町村の職員を対象とした現地見学会を今年７月18日に開催しました。

工事の担当職員から、国道が安全走行できるように落石防止対策を行っていること、効率良く短期間で工事を行うために採用した工法や工事に木材を利用していることなどを紹介しました。

参加した市町村職員からは、普段見ることのできない治山施設の裏側や、近くで見る規模の大きさに驚きつつ、地域の要望に応えながら、早期復旧のために様々な工夫をしていることを知る良い機会となったとの感想もありました。

今後も情報発信する場を設け、県や市町村と連携を図りながら、地域住民の安全安心のための取組を継続していきます。



国道治線の治山工事の様子

松くい虫から海岸防災林を守ります

秋田

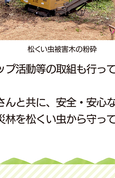
由利森林管理署

秋田・山形両県の海岸線に沿ってのびるクロマツ林は古くから多くの人々が砂や風と闘いながら、心血を注いで造成した努力の結晶となる海岸防災林です。当署では、由利本荘市の水林海岸、西目海岸、田尻海岸にクロマツを中心とする海岸防災林を管理し、長年、海岸からの強風や飛砂から人々の生活を守ってきました。

しかし、昭和58年から松くい虫の被害が確認されるようになったことに加え、長年の豪雪や台風は、松くい虫の被害で弱った海岸防災林に追い打ちをかけました。そのため、松くい虫被害木の伐採や薬剤処理を行い、被害の拡大防止に努め、海岸防災林の復旧・再生をめざし、取り組んできています。

毎年４月下旬には、地域の行政機関、企業と松くい虫一斉防除連絡会議を開催し、被害拡大防止のため、地域全体の林野巡視の強化や被害木の早期駆除を推進しています。なお、当署では今年度、特別伐倒駆除は約5,800本、薬剤散布は約153ha実施しました。

また、海岸防災林の大切さを市民に知ってもらうため、地元高校生によるマツ林の本数調整伐作業体験、ボランティアを中心に植栽苗所の下刈作業やクリーンアップ活動等の取組も行ってきています。



松くい虫被害木の粉砕

今後も、市民の皆さんと共に、安全・安心な生活に直結する海岸防災林を松くい虫から守っていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手

岩手県宮古市（みやこし）

三陸北部森林管理署

宮古市は岩手県の沿岸部、三陸海岸のほぼ中央に位置し、太平洋に面した東部の重茂（おもえ）半島には、本州最東端の地「魋（とど）ヶ崎」があります。

三陸海岸は、宮古を境に、北側は海食崖や海岸段丘が発達した隆起海岸、南側は入江と岬が複雑に入り組んだリアス海岸になっています。変化に富んだ壮大な景観は、東日本大震災後に「三陸復興国立公園」や「三陸ジオパーク」となり、多くの観光客が訪れています。

本州最東端の地「魋ヶ崎」

三陸・宮古の代表的な景勝地で、国指定名勝の「浄土ヶ浜」は、江戸時代に宮古山常安寺の僧侶がその美しさに「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆したことから名付けられました。浄土ヶ浜では、海水浴やシーカヤック、「青の洞窟サッパ船遊覧」など様々なアクティビティが体験できるほか、令和４年７月から三陸ジオパークの見どころをガイドが案内する遊覧船「宮古うみねこ丸」が就航しました。

浄土ヶ浜と「宮古うみねこ丸」

市街地の南北と西側は、市の総面積の約92％を占める森林が広がり、急峻な山々と丘陵地を有する広大な北上山地になっています。なかでも、最高峰の早池峰山（はやちねさん）（1,917m）は、固有種や希少種の花が多く「花の百名山」に選定され、シーズンには多くの登山客が頂を目指します。一帯は高山植物の宝庫として「早池峰国定公園」に指定されています。

高山植物の宝庫「早池峰山」

早池峰を水源の一つとする閉伊（へい）川は、深山から流れ出す清水と養分を集めて宮古湾へと流れ下ります。宮古は古くから漁業の町として栄え、年間を通じて豊富な海産物に恵まれています。

名物の「瓶（びん）ドン」は、いくらやウニ、トラウトサーモンなど瓶に詰められた新鮮な海の幸をご飯にかけてオリジナルの海鮮丼を作る、体験型のご当地丼です。市内の複数の食事処や宿泊施設で提供されており、店舗ごとに具材や味が異なるので、食べ比べて楽しむこともできます。

森・川・海の魅力がたっぷり詰まった宮古市へ、ぜひお越しください。

宮古市のご当地丼「瓶ドン」

お問合せ先
宮古市観光課　Tel.0193-68-9091

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

宮城

宮城県栗原市（くりはらし）

宮城北部森林管理署

栗原市は宮城県の内陸北部に位置し、面積の８割近くが森林や原野、田畑で占められた岩手・秋田両県に隣接する自然豊かな田園観光都市です。面積は800平方キロメートルを超え、県内最大を誇ります。また、市内北部には標高1,626メートルの栗駒山がそびえ、東西に迫三川が貫通し大地を潤しています。

紅葉に染まる栗駒山

◎平成20年岩手・宮城内陸地震で発生した山地災害等の記憶を後世に伝える栗駒山麓ジオパークは、自然災害と向き合ってきた歴史を学べる自然公園です。活動拠点施設のビジターセンターでは、栗駒山から伊豆沼・内沼までの航空写真や、巨大スクリーンによる荒砥沢地すべりなどの紹介映像を体感できます。また、ジオパークでは、栗駒山麓の地

雄大な栗駒山麓と自然災害との共生を学べるジオパーク

形・景観を教育、学術研究、観光、防災などに活用し、持続可能な地域づくりを目指しています。

◎「伊豆沼・内沼」は、合計面積491haの低地湖沼で、冬期でも最高気温が４℃を超え、凍結しにくいことから、多くの水鳥が越冬できる優れた条件を備えています。また、さまざまな水生植物が湖面を覆い豊かな植物環境がつくられ、トンボや魚、水鳥をはじめとする多様な生物を育んでいます。1985年には、日本で２番目にラムサール条約湿地に登録されました。

伊豆沼・内沼

◎「細倉マインパーク」は平成28年７月にリニューアルした観光坑道テーマパークです。約1,200年前に発見された細倉鉱山は、鉛や亜鉛、金、銀も産出されました。1987年に閉山してからは細倉マインパークとして、多くの観光客に鉱山のことを知ってもらう人気のスポットとなっています。

細倉マインパーク

お問合せ先
栗原市商工観光部田園観光課　Tel.0228-22-1151

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報をお伝えしています。

白神山地の新たなシンボルツリー

藤里森林生態系保全センター

秋田県藤里町の岳岱（だけだい）自然観察教育林にある「400年ブナ」は、これまで白神山地のシンボルとして長年親しまれてきました。しかし、令和４年３月21日に樹勢の衰えに加え、令和４年冬の多雪が要因となり倒伏したため、現在は、現地にそのままの形で保存し、ブナ天然林の自然の営みを観察する場として保存しています。(写真①)

写真①　倒伏した400年ブナ

その偉大な「400年ブナ」に代わるシンボルツリーを藤里町と東北森林管理局で相談し、新たに選定したのでご紹介します。

この岳岱自然観察教育林内には、倒伏した「400年ブナ」のほかにも、一際大きなブナや、シナノキ、ヤチダモなどの巨木が生育しており、これまでも訪れた方々にご覧いただいてきたところです。

それら巨木の中からシンボルツリーを選定するに当たっては、令和４年11月10日に岳岱周辺に詳しい秋田白神ガイド協会会長に同行いただき、現地において候補の木を確認し、測樹をしていく中で、既に「ブナ大木」としてパンフレットで紹介してきたブナが径級、樹高、姿形ともにトップ

写真②　岳岱大ブナ　幹周り401cm、樹高31.6m

クラスであり、遊歩道の近くにあることから、新たなシンボルツリーの第一候補としました。

また、ブナ大木のすぐ近くには森林環境教育等での記念撮影スポットである「シナノキの大木」があり、会長より「シナノキのコブが狛犬の顔のように見えることからガイド事業ではかかせない巨木」といった話があり、「ブナに限らず岳岱の顔としてシンボルツリーの候補としてもいいのではないか」という意見もあったので、この２本についてシンボルツリーの候補としました。その際に、それぞれ「岳岱大ブナ」(写真②)、「こまいぬシナノキ」(写真③)といった愛称とすることとしました。

写真③　こまいぬシナノキ　幹周り473cm、樹高30.4m

その後、令和４年11月24日には地元である藤里町に新たなシンボルツリーの選定、名称について相談を行い、ご快諾をいただいたことから、令和４年12月20日にプレスリリースを行い、消雪後に秋田白神ガイド協会、藤里町、東北森林管理局の３者協働でシンボルツリーへ導く新たな遊歩道等を整備しました。令和５年５月18日に県道西目屋二ツ井線の開通に先立って、報道機関の方々を対象とした新たなシンボルツリーの現地説明会を開催し、お披露目したところです。

現在、岳岱では春から夏にかけての行楽シーズンから、色鮮やかな黄葉へと変化する季節を迎えようとしております。新たなシンボルツリー「岳岱大ブナ」、「こまいぬシナノキ」が皆様のお越しをお待ちしております。

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

豪雨等による民有林林道への災害支援

近年は全国的に記録的な豪雨が頻発しており、林道施設への災害も多く発生しています。こうした状況のなか、東北森林管理局では国有林林道の災害復旧に加え、民有林林道における災害の被害状況調査等の支援に取り組んでいます。

令和元年10月には台風19号に伴う豪雨により、宮城県内全域において林道施設への甚大な被害が発生しました。この際、当局では宮城県からの支援要請を受け、「林道施設災害技術　支援チーム」を登米市及び南三陸町へ派遣し、延べ17路線、59箇所の災害復旧申請に係る調査・設計等への支援を行いました。

また、令和４年７月には、宮城県を中心に降り続いた豪雨により、大崎市内の民有林林道において多数の被害が発生しました。当局では、大崎市より現地確認を含め林道の被害状況調査に関する職員派遣の要請を受けたため、災害支援として森林整備課職員３名を派遣し、７月19日～21日までの３日間で延べ10路線、14箇所の被災した林道の調査手法・復旧方法の提案、災害申請の可否や被害額の算定等の支援を行いました。

市町村職員との災害調査状況

今年度においても７月の豪雨により、秋田県を中心に甚大な被害が発生したことから、現在も被災した林道等の復旧に取り組んでいるところです。

今後とも各自治体と連携を図りつつ、国有林、民有林林道等への被害対応に努めていきます。

ご関心のある方は、森林整備課（TEL：018-836-2162）へお問合せ下さい。

早生樹（ユリノキ）の更新特性等と需給実態について

現在、日本の人工林が本格的な利用期を迎えており、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする新しい林業を目指す取組が進められています。

当センターでは、従来の造林樹種と比較して成長に優れた「早生樹」に注目し、平成28年度から令和２年度までの５年間で「早生樹を使用した施業モデルの構築」をテーマに短期間で収穫できる早生樹の成長特性等について実証しました。その結果、多雪・寒冷な東北地方の林地においてもユリノキが良好な成長を示すことが確認され、萌芽更新力も旺盛で伐採後の天然更新が容易なことが分かりました。

ユリノキ植栽木（７年生、約５ｍ）

また、ユリノキは欧米では家具材・内装材・造作材としては市場が成立しているものの、日本における造林樹種としての実用化に向けては、需要の創出・拡大が前提となるため、取引価格や需給実態等を調査することで、東北地方における木材としての利用の可能性を調査する必要があります。

当センターでは、令和５年度からの新規課題として「早生樹（ユリノキ）の更新特性等と需給実態について」をテーマとし、植栽試験地の調査や萌芽枝の成長状況を調査するとともに、東北地方におけるユリノキの施業案を取りまとめ、普及を目指していきます。

ご関心のある方は、森林技術・支援センター（TEL：0173-57-9022）へお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として働く人の紹介です。

人と森林を繋ぐ人に。

宮城

宮城県森林整備事業協同組合
宮城十條林産株式会社　白石営業所　柳原　崇太さん

当事業所は、宮城県の南端である白石市に位置しています。敷地内に製材工場も併設しており、伐採から製材までを一貫して行うことのできる事業所となっています。入社して３年目となり、現在の私の主な業務としては、森林の買入、森林の調査、現場管理業務で、加えて国有林や県有林の仕事にも携わっています。

私は大学で建築学を専攻していました。木造住宅が好きで学んでいましたが、その家を構成する木について自分が何も知らないことに気づき、森林に興味を持つようになりました。そして大学生の時に石巻市で林業や製材業の方々と関わることがあり、自分もそのうちの一人になりたいと思い、今に至ります。

林業は自然が相手ですので、壮大さや厳しさを目の当たりにするのと同時に、天候や生物、土壌等のあらゆる知識が身についてきます。知るほどに自然の幾代の流れを感じ、自然の雄大さに圧倒され、それが仕事の楽しみの一つでもあります。

森林は私たち人類の繁栄の礎であり、林業もその一端を担っています。林業を通じて地域産業への貢献をし、そして、森林を後世へ継いでいきたいと思っています。同じ思いを持つ方が増えてくれればうれしいです。

ドローンから山林全景を撮影する

自然の二面性を感じる現場から

秋田

米代西部森林管理署　杉沢森林事務所
首席森林官　鈴木　朋子さん

当森林事務所は秋田県五城目町にあり、管轄する国有林は井川町、潟上市にもまたがっています。

五城目町の南東から町の中心部を流れる馬場目川の上流部には多くの釣り人が訪れ、岩の上に木が波のように根を張って離れた後ろの地面とつながっている「ネコバリ（根古波離）岩」が観光名所の一つです。

当管内は昨年の８月、今年の７月と２年続けて大雨の被害に遭いました。災害が発生した際に、森林官は森林整備の基盤となる林道に被害がないか、土砂崩れなどの山地災害はないか、あるならどの程度の被害なのか調査を行います。

土砂崩れや倒木、林道の破損によって車両が通行不可能であれば、可能な限り歩いて調査を行いますが、現場で直接被害状況を見ると水の力の恐ろしさを実感します。

林道被害調査の様子

ほかにも様々な業務がありますが、国有林の仕事の中で森林官は現場に一番近い業務を担うため、植物の芽吹き・開花から落葉までの季節の移ろいや動物の営みを身近に感じることができます。

自然は豊かで楽しい面と怖い面がありますが、怖い面にはきちんと対策を取り安全第一で現場に向かうことを大切にしています。

国有林の現場を担当する森林官の仕事を一緒にしてみませんか。

東北森林管理局の管内で
予定されている

イベント情報

9月中旬

南部木挽唄全国大会

9月9日(土)～9月10日(日)
市指定無形民俗文化財である、南部木挽唄の全国大会
(岩手県/宮古市)

秋田県大館神明社例祭

9月10日(日)～9月11日(月)
「大館囃子」を演奏する曳き山車(やま)が市内を巡行
(秋田県/大館市)

令和5年度久慈秋まつり

9月14日(木)～9月17日(日)
1360年代から続く歴史と伝統を誇る岩手県北最大規模のまつり
(岩手県/久慈市)

大森親山獅子大権現舞

9月15日(金)
文明13年(1481)頃から続いている神楽といわれる
(秋田県/鹿角市)

縄文キャンプin白神山地

9月16日(土)～9月17日(日)
縄文文化と白神山地を体験する縄文キャンプ
(青森県/青森県自然保護課)

日本のふるさと遺野祭り

9月16日(土)～9月17日(日)
地域に伝わる60を超える伝統芸能が一堂に介する「郷土芸能祭典」です
(岩手県/遠野市)

第11回しばた曼珠沙華まつり

9月16日(土)～10月1日(日)
45万本を超える曼珠沙華(彼岸花)が咲き誇る
(宮城県/柴田町商工観光課)

走快！第37回しろいし蔵王高原マラソン大会

9月17日(日)
雄大な蔵王のふもとで開催されるしろいし蔵王高原マラソン大会
(宮城県/マラソン大会実行委員会)

9月下旬

東北ダリヤ名花展

9月22日(金)～9月24日(日)
全国でも珍しいダリヤのみを集めた品評会
(山形県/川西町産業振興課)

世界自然遺産登録30周年記念白神山地トレッキング

9月23日(土)
初秋のブナ林でトレッキング
(青森県/白神山地ビジターセンター)

白神フォレストタイム

9月23日(土)
白神山地の麓、西目屋村で森との時間を
(青森県/県中南地域県民局林業振興課)

ブナの森リトリートツアー

9月23日(土)
森林セラピー基地・ブナの森温身平を散策
(山形県/やまがたアルカディア観光局)

めざせ！蔵王マイスター③

9月23日(土)～9月24日(日)
18歳以上の登山初心者を対象とした講習会と登山
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

南部牛追唄全国大会

9月24日(日)
藩政時代に北上山地を超えた牛方たちの唄全国大会
(岩手県/南部牛追唄全国大会実行員会)

国立公園で楽しむ親子の自然体験

9月30日(土)
おいしいわき水を飲む！犬倉山登山
(岩手県/網張ビジターセンター)

第38回にんにくとべごまつり

9月30日(土)～10月1日(日)
田子町の二大産物『にんにく』と『田子牛』を一度に味わえる
(青森県/田子町)

10月上旬

大館バラまつりシーズン2

9月29日(金)～10月6日(金)
約500種類の様々なバラが咲き誇る、苗木やお土産品の販売も
(秋田県/大館市)

第21回角田ずんだまつり

10月1日(日)
大豆の里・角田を満喫する「秘伝豆」の販売会
(宮城県/角田ずんだまつり実行委員会)

神鹿角切り行事

10月1日(日)
観光客に危害を加えないよう壮鹿の角を神官が切り落とす行事
(宮城県/金華山黄金山神社)

阿武隈ライン舟下り「いも煮舟」

10月1日(日)～11月30日(木)
屋形船で郷土食・いも煮を食べながらの「阿武隈ライン舟下り」
(宮城県/阿武隈ライン舟下り)

荘内大祭

10月6日(金)
荘内神社が創建された明治10年から続く、城下町鶴岡の伝統行事
(山形県/鶴岡市)

遠野市産業祭り

10月7日(土)～10月8日(日)
優れた特産品が集まるお祭り、森林のくに遠野祭りも開催される
(岩手県/遠野市)

本場大館きりたんぽまつり

10月7日(土)～10月9日(月)
本場の味・新米で作られたきりたんぽと比内地鶏の取り合わせ
(秋田県/大館市)

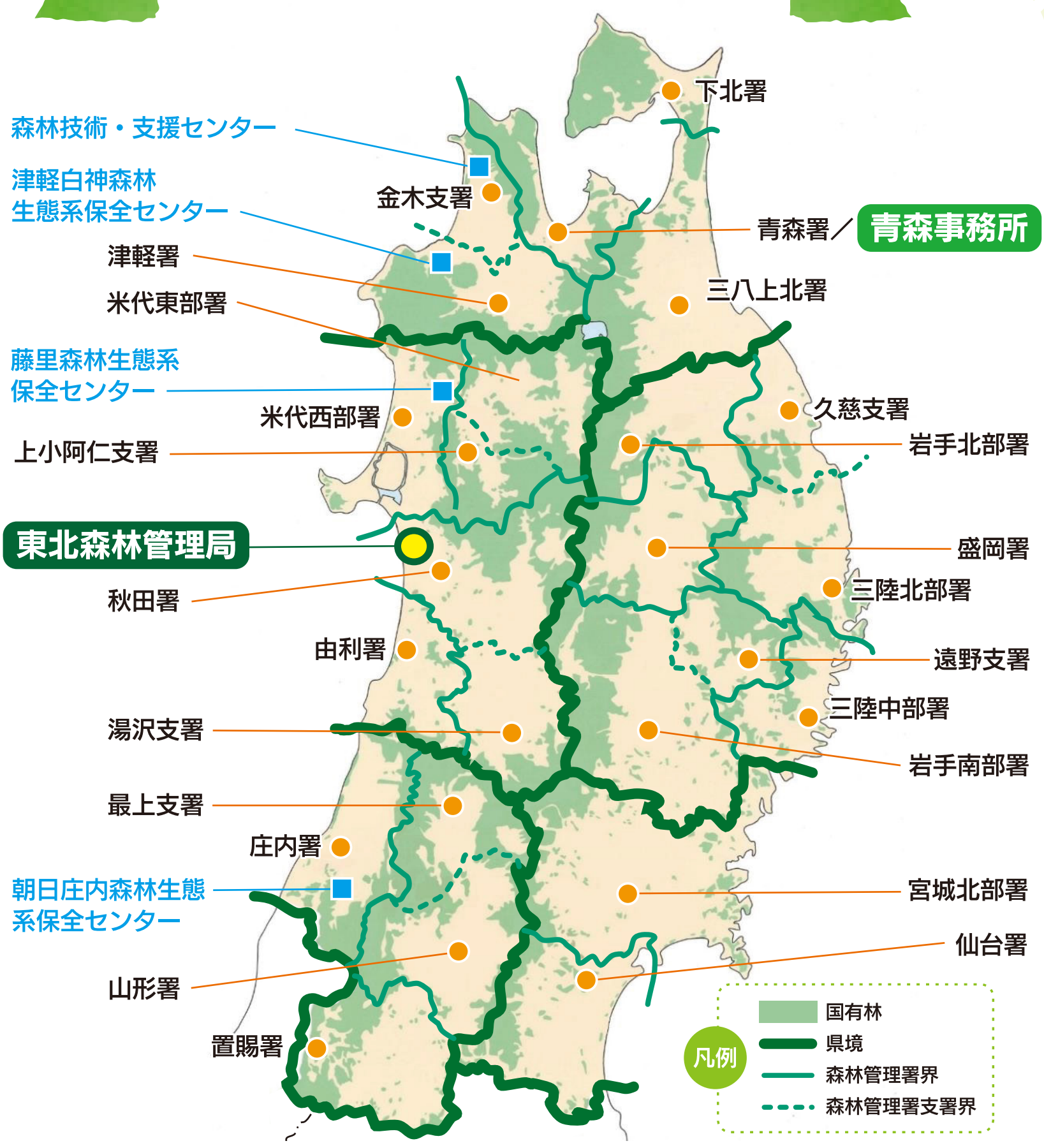
小坂・鉄道まつり2023

10月8日(日)～10月9日(月)
レアな車輌の展示やガイド付きの見学ツアーなどを楽しめる
(秋田県/小坂町)

※掲載内容は、新型コロナ感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730

東北森林管理局

〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの東北 Midori no Tohoku

No.234　●発行日／令和５年９月　●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/